

内 科 学

1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 伊 藤 清 顕
【 科目担当者 】

2 教育目標

(1) ねらい

学生が臨床において最も頻度の高い疾患の一つである消化器疾患の中の肝胆膵疾患の病態についてさまざまな手法を用いて研究するとともに、独創的で具現可能な新たな治療法と診断法に繋がる研究を理解する。

(2) 学修の到達目標

- ①学生が肝胆膵疾患の病態を説明できる。
- ②学生が肝胆膵疾患の診断法における問題点を指摘できる。
- ③学生が肝胆膵疾患における治療法の問題点を指摘できる。
- ④学生が肝胆膵疾患の病態，診断，治療に関する資料を収集できる。
- ⑤学生が研究を一緒に行う他の研究者と研究の方針や手法について良好にディスカッションができる。
- ⑥学生が研究に必要な実験機器や測定機器を適切に操作できる。

3 授業内容

【 講 義 】	消化器病学とくに慢性肝疾患，ウイルス性肝炎，非アルコール性脂肪性肝疾患，胆道系悪性腫瘍，慢性膵炎，膵癌などの病態生理，診断，治療法に関する講義を行う。
【 演 習 】	消化器疾患に対する診断と治療法について腹部超音波検査，消化器内視鏡検査手技と合わせて演習する。また，最新の知見のつき文献を収集，紹介し討論する。
【 実験研究 】	消化器疾患に対する病態解明のための実験的研究を行うとともに，臨床研究のための研究計画の策定，データの収集，解析を行う。

4 成績評価の方法・基準

独創的思考能力，論理的思考力，問題解決力，コミュニケーションとプレゼンテーション能力などをディスカッションや論文作成を通じて総合的に評価する。

適宜小テストを行い理解度を評価する。

テーマを与えて英語論文の収集を行わせて資料の収集能力を評価する。

5 教科書・参考図書

必要に応じてプリントを配付する

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前にプリントの事例などに目を通しておく。(1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

肝胆膵疾患に関する論文作成を通して, 肝胆膵分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートは, 評価後返却されるが, 内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。

9 履修上の留意点

学究的な思考能力の向上のみならず倫理的配慮を忘れないこと。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	伊藤清顕	木	16:00~17:00	D棟3階教授室	内線 23767